

同志社大学「次世代研究者」プロフィール

2021年10月現在

基本情報					
フリガナ 氏名	タマイ 玉井	ユウタ 湧太	生年	1990年	
氏名(英字)	TAMAI	Yuta	メールアドレス	ytamai(a)mail.doshisha.ac.jp	
学歴	2012年 4月 同志社大学 生命医科学部 医情報学科 入学 2016年 3月 同志社大学 生命医科学部 医情報学科 卒業 2016年 4月 同志社大学大学院 生命医科学研究科 医工学・医情報学専攻 博士前期課程入学 2018年 3月 同志社大学大学院 生命医科学研究科 医工学・医情報学専攻 博士前期課程修了 2018年 4月 同志社大学大学院 生命医科学研究科 医工学・医情報学専攻 博士後期課程入学 2021年 3月 同志社大学大学院 生命医科学研究科 医工学・医情報学専攻 博士後期課程修了				
職歴	2018年4月～2021年3月 日本学術振興会 特別研究員(DC1) 2018年4月～2021年3月 同志社大学学習支援・教育開発センター ラーニング・アシスタント 2021年4月-現在 同志社大学研究開発推進機構 特別任用助教(有期研究員)				
指導教員	飛龍 志津子 教授	取得学位	博士(工学)	専修外国語・読解可能な外国語	英語
研究活動					
研究分野	聴覚生理学、聴覚心理学、動物行動学、音響工学、神経工学				
科研究分類による研究分野	人間情報学・知覚情報処理				
研究テーマ	赤外光神経刺激を用いた非侵襲人工内耳の開発				
研究概要	本研究の目的は、外科手術を必要としない、赤外光レーザー人工内耳の開発である。赤外光レーザーを神経組織に照射すると神経活動を誘発できる。そのため、赤外光レーザーを人工内耳に応用することで、イヤフォンのように気軽に装着可能な人工内耳が実現すると考えている。具体的な研究活動として、スナネズミを対象とした実験により、赤外光レーザー刺激が誘発する聴覚末梢、中枢の神経活動の計測と被験体の行動応答の計測により赤外光レーザー人工内耳の実現可能性を評価している。また、スナネズミを対象として明らかになった結果を基に、レーザー人工内耳に実装する刺激アルゴリズムの開発に取り組んでいる。				
研究業績	researchmapを参照 https://researchmap.jp/Y.Tamai				
所属学会	Society for Neuroscience、日本神経科学学会、日本比較生理生化学会				
キャリア関連					
志望進路	教員(大学・高専等)、研究員(研究機関、企業)				
進路	2022年2月から 日本学術振興会 海外特別研究員(Eberhard Karl University of Tübingen)				
自己PR	博士在学中は、げっ歯類を対象とした神経生理学、行動学的的研究とヒトを対象とした音響心理実験を行ってきた。海外特別研究員の派遣先では、コモンマーモセットを用いた研究を行う予定。2021年度は、知覚認知と知覚情報システム論の授業を担当している。				
取得資格等					

※メールアドレスの(a)は@を表しています

同志社大学「次世代研究者」プロフィール